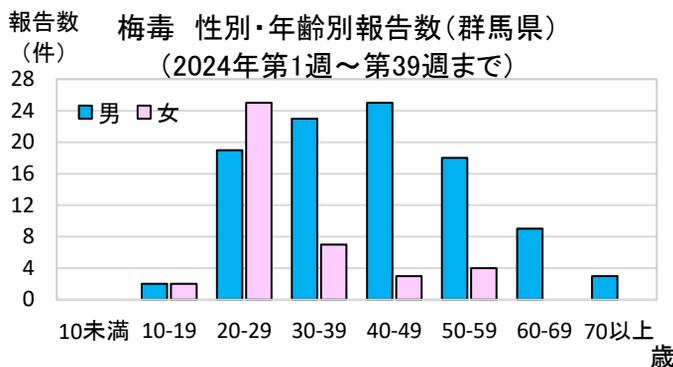
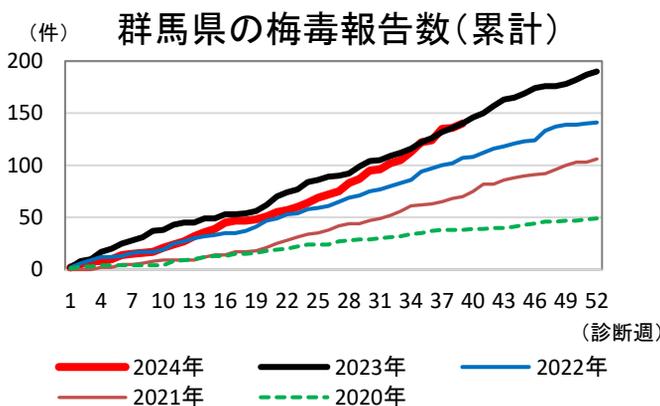


梅毒の報告が増加しています!

◆ 今流行っているの?

- 群馬県では2024年第39週(～9月29日)までに140件の報告がありました。これは感染症法に基づく調査が始まった1999年以降で最も報告の多かった昨年の同時期(140件)と同様の報告数です。



男性が約7割
女性は20歳代の報告が多い

◆ どんな病気?

- 梅毒トレポネーマという病原菌による感染症。
- 早期治療で完治可能だが、治療が遅れると重大な後遺症が残ることがある。
- 妊婦が感染すると流産・死産となる場合や、子どもが梅毒に感染した状態で生まれる(先天梅毒)可能性がある。



【感染経路】 性的接触等

【潜伏期間】 3～6週間

【症状の経過】

第Ⅰ期：(約3週間後) 口唇・口腔内や外陰部等に豆大のしこり、潰瘍を生じる

第Ⅱ期：(約3ヶ月後) 全身に赤い斑点ができる

晩期：(数年後) 心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じる

【予防と対策】

- 性行為のときは、必ずコンドームを正しく使用する(同性間でも必要)。
- 不特定の人との性行為を避ける。

※詳しくは厚生労働省ホームページ「梅毒に関するQ&A」をご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html



◆ 症状があらわれた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう!

保健所では性感染症の相談・検査を無料・匿名で行っています
保健所(県保健福祉事務所、市保健所)までお問合せください



- ◆ 県保健福祉事務所では梅毒の即日検査を行っています。
- ◆ 詳しくは群馬県ホームページをご覧ください。<https://www.pref.gunma.jp/page/2561.html>